

ご卒園・ご卒業 おめでとう ございます



3月2日から3月17日にかけて、町内の各認定こども園では卒園式が、各小学校と美郷中学校、六郷高校では卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症や豪雪など、多くの困難を乗り越えて一回りも二回りも成長した卒園児・卒業生たちは、春から始まる新生活に向けて力強く第一歩を踏み出しました。

令和3年度の
卒園児・卒業生の数は
右記のとおりです

千畑なかよし園	41名
六郷わくわく園	50名
仙南すこやか園	47名

千畑小学校	49名
六郷小学校	40名
仙南小学校	48名

美郷中学校	142名
六郷高校	62名

ご長寿おめでとうございます 佐藤チヨさんが満100歳に

2月18日に満100歳の誕生日を迎えられた佐藤チヨさん(元村)へ、町から長寿祝い金を贈呈しました。施設の職員から鮮やかな寄せ書きも贈られて、とても喜んでいました。

旧仙南村笹巻出身の佐藤さんは、子ども2人、孫4人、ひ孫6人に恵まれました。お寿司が大好きとのことです。ご家族は、「自宅にいた頃からきな粉牛乳をよく飲んでいたことが長生きの秘訣ではないかな」とおっしゃっていました。



ご長寿おめでとうございます

伊藤ミツエさんが満100歳に

2月25日に満100歳の誕生日を迎えられた伊藤ミツエさん(一丈木)へ、町から長寿祝い金を贈呈しました。伊藤さんは昭和18年に結婚し、子ども3人、孫6人、ひ孫9人に恵まれました。実家はこうじ屋を営んでいて、そのこうじを使って作る「なた漬け」が得意だったそうです。ご家族は「几帳面で負けず嫌いな性格が、長生きの秘訣ではないか」とおっしゃっていました。



MISATOPICS

町の話



美郷町学友館特別展「大小島真木“起源と対話”木・火・土・金・水 Origin and dialogue/wood,fire,earth,metal,water」の図録を販売しています

昨年度、美郷町学友館では現代美術家・大小島真木氏の特別展を開催しました。大小島氏は東京都出身の若手美術家で、美郷町では平成28年から令和2年までの5年間にわたり、町内に滞在しながら小中学校・美郷町公民館で壁画を描きました。特別展では、普段は各施設に設置されている壁画を学友館に集結させ、大小島氏の代表的な作品とともに展示し、彼女の世界観を表現しました。これを記念し、壁画や特別展の様子などを紹介した図録をつくりました。下記の場所で取り扱っていますので、ぜひお買い求めください。

書籍名 ● 「大小島真木“起源と対話”木・火・土・金・水

Origin and dialogue /wood,fire,earth,metal,water」

販売場所等 ● 美郷町学友館・美郷町公民館・美郷町北ふれあい館

毎週火曜日～土曜日 午前9時～午後5時(休館日を除く)

価 格 ● 1冊 2,000円(壁画のポストカード付き)



問 ● 美郷町学友館 ☎0187(84)4040

前に進む

COLUMN
WINDS

コラム

風

美郷町長
松田知己



美郷中学校の卒業式であいさつをする
松田町長

進学や入社など生活に変化がある方には大きな期待感が生まれ、そうでない方にもふわっとした期待感が生まれる4月を迎えました。その核心は、希望に近づけるかも知れない「可能性」だと思えますが、確実にそれを大きくする月になることを願いたいと思います。

ただし、願うだけでは期待感はいっつか萎んでしまいます。可能性を育てる「変化」が生まれないからです。やはり行動が求められます。しかし、今は新型コロナウイルスのせいで、疾病と経済が絡んだ大きな社会課題に包まれ、それを発揮しづらい環境です。その打破に向けた武器はワクチンと治療薬の2つですが、町ではその1つ、ワクチン接種3回目を現在、急ぎ進め

ています。まだ3回目接種を受けていない方は、5月に予定する追加の接種機会に前向きな対応をご検討ください。また、努力義務のない小児接種(5歳から11歳)では、接種券未送付の7歳以下の接種を5月に予定しています。効果と副反応を考慮し、対応を決めていただきたいと思います。

こうした目の前にある社会課題のほか、先月からはロシアのウクライナ侵攻に伴う影響も課題に加わってきました。原油価格変動や農産物等の流通不透明さに伴う影響など、今後、経済と日常生活にどのような影響が生じてくるか怖いところです。この状況を踏まえつつですが、侵攻を受けたウクライナには表現し難い痛ましさを感じます。同時に、非人道的な武力行使と

見え透いた情報操作で自己正当化を図るロシアの侵攻関係者には、怒りしか湧いてきません。日本を含む数多くの国がかつて歩いた誤った道と同質ですが、今の時代にあってもなお存在するこうした判断と行動に、剣とペンの力関係、そして我欲について深く考えさせられる春です。ジョンレノンの曲「イマジジン」や「平和を我らに」が心の中に流れます。

前に進むことを国際暴力等で拒まれない、今の日本の平和に感謝しつつ、だからこそ、新型コロナウイルスへの対応も含めて、望む自分の姿や社会の姿に近づいていく判断と行動で、自分らしい意志を持って前に進む「令和4年4月」にしていきます。